

# ジャステイス新潟

不変の正義と民主化された労働運動を求めて！

ジェイアール・イーストユニオン新潟地方本部

発行者 神田 広栄

編集者 教 宣 部

平成28年1月1日 第13号

〒950-0086

新潟市中央区花園1丁目6番30号大幸ビル1-B

Tel. 025-244-1777 041-2490



ジェイアール・イーストユニオン新潟地方本部  
執行委員長 神田 広栄

新年あけまして、おめでとうございます。

昨年12月、私たちがこのJR東日本に、真に民主的な労働運動を息づかせようと決意してから20年が経ちました。未だその道は半ばといえど、その意志には微塵の陰りもありません。太古の時代より、すべてのものは生き残るために様々な障害へ全力で立ち向かってきました。如何に体が大きくても、ずば抜けて知力が優れていても、時代の波にのまれるもののあることは今日までの歴史が明らかにしています。そして理想と信念を持ち、時代の変化を捉えて靴（しな）やかに対応できたものだけが、現代まで生き残れたのだと思います。それは、自分が生き残れる環境を自らが創造してきたともいえます。

私たちのJR東日本は巨大なインフラ産業です。揺るぎない基幹産業といえるでしょう。しかし、一步でもその方針や施策を間違えば、何時でも奈落の底に落ちてしまうのです。特に喫緊の課題が「安全問題」にあることは論を俟ちません。経営の論理が最優先されるような状況にある昨今、私たちは現場第一線の目線から提言を繰り返さなければなりません。安心して仕事のできる環境こそが、安全な商品を提供できる礎と考えます。

少子高齢化がますます現実化している今日、一層労使ともに英知を結集させていかなければなりません。私は、新潟のような地方を含めたネットワークがあつてこそ、鉄道産業本来の特性が活かされるものと確信します。

輝かしい新年を迎えながらも、厳しい現実的な問題への克服が求められます。JR東ユニオン新潟地方本部の全組合員が心一つにして、あらゆる問題に果敢に挑んでいきましょう。

最後になりますが、組合員ならびにご家族の皆さまのご健康とご多幸を祈念し、新年への決意といたします。

